



Team New Vision

# 3月11日、<sup>ながおかきょうし</sup>長岡京市<sup>くんれん</sup>シェイクアウト<sup>さんか</sup>訓練に参加しました。

長岡京市ホームページより

来る3月11日で、東日本大震災が発生してから13年を迎えます。甚大な被害をもたらした大震災の記憶と教訓を忘れず、地域や世代を超えて伝え続けることが必要です。

大震災の経験と教訓を忘れず、地域や世代を超えて伝え続け、南海トラフや本市で最大震度7が想定されている有馬-高槻断層地震などの大地震に備え、自分の命を自分で守ることが出来るように、地震が起きた場合の対応や動きの確認を行いましょう。

この趣旨に賛同し、長岡京市の「シェイクアウト訓練」に参加しました。

## シェイクアウト訓練とは？

大地震が発生したという想定で、各家庭、職場、学校、外出先などのそれぞれの場所で参加者が地震から身を守るための3つの安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」(Drop-Cover-Hold on)を約1分間行います。



まず低く



頭を守り



動かない

長岡京市【訓練】こちらは長岡京市です。令和6年3月11日午前9時30分に有馬-高槻断層を震源とする、震度7の地震が発生しました。ただちに身を守る行動をとってください。※これは訓練です。

## 【各学部の様子】

- 放送を最後まで聞き、自ら机の下へ行き身を守る行動を取ることができました。
- 友達に声をかける等、周囲のことにも配慮する姿も見られました。
- エレベーターホール付近、更衣室、移動中の廊下等、教室以外の場所でも自主的に放送の指示に従うことができました。
- 「1分間って長いね」という声が聞こえてきましたが、落ち着いて安全確保行動がとれました。
- いつもと違う放送でびっくりする様子もありましたが、すぐにいつものように行動できました。

◎今後も様々な訓練に参加し、防災の意識を高めていきたいと思えます。

